

この度は、国際ソロプチミストアメリカ日本西リジョン主催ガールズ・サミットの基調講演、コーディネーター、審査委員長を務めさせて頂く貴重な機会を賜り、誠にありがとうございました。マスコミ時代から、国際ソロプチミストの素晴らしい活動取材した経験から、活動については存じ上げていましたが、大役のご指名にお応え出来るかしらと一抹の不安を抱いておりましたが、主催者の皆さまのガールズ・サミットへの情熱に触れ、貴重な機会に恵まれた喜びと感謝に包まれ、歓んでお引き受けした次第です。

基調講演は、「私を生きる～突破力・プレゼン力・セルフマネジメント～」をテーマに、男女雇用機会均等法翌年に社会人となり、マスコミ 15 年、福祉 15 年の 30 年のキャリアの集大成としてお話させて頂きました。「突破力」、「プレゼンテーション力」、「セルフマネジメント」のキーワードは、30 年の社会人生活で、アナウンサー、ディレクター、ソーシャルワーカーとしての専門職経験、障害福祉事業責任者としての運営に携わり、試行錯誤や失敗を重ねた体験から自らが掴み取った“人生を生きる極意”を集約したエッセンスです。ワークショップで採用した「SWOT 分析」は、福祉事業を立ち上げる際、事業運営の戦略として組織とスタッフ全員の守備力と攻撃力を高める手法として採用しました。アメリカのスタンフォード大学で生まれ、目標達成に意思決定を必要としている組織や個人のプロジェクトにおいて、具体的な戦略を立てる手法です。強みを活かし機会を最大限に活用する戦略と弱みによって機会を逃さない戦略と 2 つの手法から、今回は強みによって機会を最大限に生かす手法に取り組んで頂きました。基調講演もワークショップも、もし、今の私が高校生なら、今後のキャリアを築く上で“知って置きたかったこと”を自問自答しながら構成いたしました。

大変有難いことに、ガールズ・サミットの基調講演で、30 年間、ひたすらに走り続けてきた半生を振り返る貴重な機会を頂きました。秒単位を競って情報を届ける世界に身を置いたマスコミ生活、障害や病を得てより人生を輝かせようと生きる人たちと共に歩いた福祉界での日々、そしてサードステージに挑む研究生活の真っ只中の現在。未来への希望に溢れた 55 人のガールズの皆さんから私の方が勇気を頂きました。このような素晴らしい機会を与えて下さいました皆様に感謝の想いで一杯でございます。どうもありがとうございました。2021 年に 100 周年を迎えられる国際ソロプチミストの益々のご発展を祈念しています。

以上